

記入例

(業務改善設備・賃上げする場合)

第2号様式 (第9条関係)

事業実施計画書

事業名	大田区省エネルギー・業務改善・賃上げに係る緊急経済対策助成金		
利用目的 (該当する設備 にチェック)	<input type="checkbox"/> 省エネルギー対策設備 <input checked="" type="checkbox"/> 業務改善設備 ※両設備とも申請の場合は両方にチェック		
賃上げの実施	<input type="checkbox"/> 賃上げしない ※賃上げしない場合、補助率1/2、限度額50万円 <input checked="" type="checkbox"/> 賃上げする ※賃上げする場合、補助率4/5、限度額80万円 ※賃上げする場合は「従業員へ賃上げ方針を表明したことを証する書面」を添付すること。		
賃上げ計画 ※前の質問で賃上げすると回答した場合のみ記入		基準期間 (賃上げ前)	比較期間 (賃上げ後) ※予定
	賃上げの確認期間 ※期間は、賃上げ直前の3か月分とすること。	令和8年7月 ～ 令和8年9月	令和8年10月 ～ 令和8年12月
	各期間3か月分の毎月決まって支払う 給与総額 (従業員全員の合計額)	(A) 15,000,000円	(A´) 15,600,000円
	1か月あたりの毎月決まって支払う 給与総額 ※(B) = (A) ÷ 3 ※(B´) = (A´) ÷ 3	(B) 5,000,000円	(B´) 5,200,000円
	従業員等数	(C) 20人	(C´) 20人
	従業員等一人当たりの平均給与支給月額 ※(D) = (B) ÷ (C) ※(D´) = (B´) ÷ (C´)	(D) 250,000円	(D´) 260,000円
	賃上げ率 ※(E) = [(D´) - (D)] ÷ (D) × 100 ※4%以上であることが条件。	(E)	4.0%
	(注意事項) ・小数点第2位以下は切り捨て。 ・募集要領を参照して記載すること。		

<p>事業完了 予定日</p>	<p>令和8年8月1日（すべての設備設置および支払い完了の予定日）</p>	
<p>申請者</p>	<p>(名称) オオタサンギョウ株式会社 (所在地) 大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザPiO 4階 (資本金) 1,000万円 (従業員数) 10名 (大田区内に主な事業所を開設した年) 平成25年 (業種) 飲食業 (事業内容・取扱品目) イタリアンレストラン</p>	
<p>更新する 旧設備</p> <p>※複数の設備を更新する場合、1つの旧設備がどの新設備と対応しているかわかるように明記してください。</p>	<p>設備名（型番）： 1. レジスター（ABC-2005ZZ） 2. 業務用フライヤー（Y-2008DEF）</p> <p>使用用途： 1. 会計時の精算用 2. 提供する料理の調理用</p> <p>設置場所の住所： 大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザPiO 4階</p>	<p>複数設備を申請する場合、すべて記載してください。その際、番号を振る等して、わかりやすく表記してください。</p>
<p>導入する 新たな設備</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 使用用途・設置場所は旧設備と同一である。（チェックをしてください。）</p> <p>設備名（型番）： 1. レジスター○タイプ（X-24GHI） 2. 業務用フライヤー●タイプ（WW-J2022）</p>	
<p>省エネルギー 効果値</p> <p>※省エネルギー対策 設備に該当の場合のみ 記入。 ※業者や製品カタログ等で確認してください。</p>	<p>旧設備</p> <p>消費エネルギー名（電気・原油等） ： 旧設備の消費エネルギー量 ：</p>	<p>新設備</p> <p>消費エネルギー名（電気・原油等） ： 新設備の消費エネルギー量 ：</p>

<p>業務改善効果</p> <p>※業務改善設備に該当の場合のみ記入。</p>	<p>追加される機能：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. POSシステム 2. タイマー機能 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>機能追加がどのように省力化・省人化につながるかを文章で記入してください。</p> </div> <p>設備の更新により見込まれる人的・時間的削減効果：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旧設備では、売れ筋や客層の集計について手作業で整理しており、当該作業が月〇時間かかっていたところ、POSシステムを導入することで会計データが自動収集され、売れ筋や客層の集計について容易に確認可能となるため、月〇時間の削減が見込める。 2. 旧設備では、従業員が常に様子を見ている必要があり、毎日30回程フライヤーを使用することから、30回×5分（見ている時間）＝2.5時間もの時間がロスしている。新設備では、一定時間後に自動で加熱終了するため、従業員が常に様子を見ている必要がなくなり、省力化・省人化が見込める。
<p>助成対象経費 総額</p>	<p>1,016,800円（税抜金額）</p>

※ 各項目の記入方法については記入見本を参照ください。

※ 行が足りない場合は複数ページに渡って記入してください。

※ 省エネルギー対策設備と業務改善設備の両設備とも申請の場合、省エネルギー効果値・業務改善効果の両項目ともそれぞれ記入してください。